

オオオナモミ (大雄なもみ)

名前の意味：^い大きなオナモミの意味。オナモミはメナモミに対して名付けられた、なもみの意味は不明。

分類：双子葉類、キク科、オナモミ属

(キク科の栽培植物^{さいばいしょくぶつ}：ヒマワリ、フキ、レタス、ゴボウ)

好きな場所：日当たりのよい^{しめ}湿った道ばた、空き地

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：メキシコ

特徴：毛が多い縁が切れ込んだ葉、^{とげ}刺だらけの実。

種子の運ばれかた：^{けもの}獣にくっつく

花弁の数：花弁はない

花の時期：8—10月

食べ方：食べられるけれどもおいしくない

見分け方：イガオナモミは、^{とげ}刺の根元にさらに^{とげ}刺が生える。

見つけやすさ ★★

見分けやすさ ★★★

総合難易度 ★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)